

マニフェスト工程計画

3つの基本理念・10の戦略・42の提案

自己評価表

(令和4年7月)

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

基本理念2 子育て豊川応援団

基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち



1 マニフェスト工程計画自己評価表について

このマニフェスト工程計画自己評価表（令和4年7月）は、令和2年2月に発表したマニフェスト工程計画について、令和3年度までの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、事業によって得られる成果や工程計画に対する事業の進捗を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

2 自己評価評点について

自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が100点になるように調整して合計点を算出しています。

基本理念	配点
1 暮らしやすさ第一豊川市	40点
2 子育て豊川応援団	30点
3 市民と創る協働と健全財政のまち	30点

3 マニフェスト項目別評点一覧

総合評点		
R3	R4	R5
68/100点	74/100点	/100点

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

毎年1,000人の社会増を目指す

R3	R4	R5
25/40点	29/40点	/40点



戦略	施策	R3 評点	R4 評点	R5 評点
戦略1	雇用の創出など人口増施策【人口増】			
	提案1 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進	4	4	
	提案2 愛知御津駅橋上化建設整備	3	3	
	提案3 新規工業団地整備	2	3	
	提案4 市長自らによる企業誘致トップセールス	1	3	
提案5 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲	3	3		
戦略2	活みなぎる元気なまち【産業・観光】			
	提案6 商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援	4	4	
	提案7 既存商業者に対する新規支援事業の創設	3	4	
	提案8 創業・起業支援事業の拡充	3	4	
	提案9 バラを始め豊川ブランドの全国PR	3	3	
提案10 観光・シティセールスの推進	3	3		
戦略3	市民の安全・安心を守る			
	【安全・安心・基盤整備】			
	提案11 消防署本署の建替	3	3	
	提案12 防災行政無線の更新	3	5	
	提案13 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置	4	4	
提案14 高齢ドライバー後付け安全装置への助成	5	5		

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案15 通学路危険箇所の一斉点検と安全対策	3	3	
提案16 ストリートデザインマネジメントの推進	3	3	
提案17 町内会要望等住民密着予算の拡充	4	4	

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

【文化・スポーツ】

提案18 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修	4	4	
提案19 地域間(ゆかりのある自治体)交流の推進	3	3	
提案20 テニスコート12面を含めた豊川公園の再整備	4	4	
提案21 リレーマラソン等おもてなし事業の拡充	1	3	

★愛知県の人口動向統計による人口増減推移

(人)

	R1	R2	R3	R4
人口	184,457	184,661	184,572	
自然増減	—	▲355	▲493	
社会増減	—	559	404	
合計増減	—	204	▲89	

※R1・R2…平成27年国勢調査結果を基礎として推計してきた人口と令和2年国勢調査による人口(確定値)に差が生じたため、令和2年国勢調査結果に接続するよう、差分を過去5年間の各月に割振った遡及改定後の数値(令和4年3月22日発表)。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/aichinoinkou-kaiteichi2020.html>

※R3…令和3年12月発表(令和2年10月1日～令和3年9月30日)数値

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000077333.html>

※R4…令和4年11月発表予定(令和3年10月1日～令和4年9月30日)数値

【参考：遡及改定前各年10月1日発表人口】

	R1	R2
人口	183,930	184,022
自然増減	—	▲355
社会増減	—	447
合計増減	—	92

【参考：国勢調査人口】

平成27年	182,436
令和2年	184,661
増減	2,225

基本理念2 子育て豊川応援団

日本一子育てしやすいまち

R3	R4	R5
23/30点	24/30点	/30点



戦略5 子育て世代を全力で応援【子育て支援】

	R3 評点	R4 評点	R5 評点
提案22 高校3年生世代までの入院医療費無料化	5	5	
提案23 民間も含めた保育園の計画的な建替整備	3	3	
提案24 保育園の老朽化等危険遊具の早期改修	4	5	
提案25 総合保健センター内に妊産婦ケアセンター創設	3	4	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

【教育】

提案26 小中学校学級運営支援員の拡充	4	4	
提案27 外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充	4	4	
提案28 地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実	4	4	

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

【健康福祉】

提案29 総合保健センター建設整備	3	3	
提案30 運動器機能向上など介護予防事業の充実	4	4	
提案31 シルバー人材センター事業への支援拡充	4	4	
提案32 障がい者の積極的な採用計画	3	3	
提案33 障がい者相談事業の拡充	4	4	

基本理念3 市民と創る協働と健全財政のまち

市民が主役の市政を進める

R3	R4	R5
20/30点	21/30点	/30点



戦略8 市民の主体的な活動を応援

【市民との協働】

- 提案34 消防団員・交通安全指導隊員等の処遇改善
- 提案35 町内会加入率低下対策プロジェクトの設置
- 提案36 ボランティア・NPOマンパワー養成事業

R3 評点	R4 評点	R5 評点
----------	----------	----------

4	5	
4	4	
3	3	

戦略9 みんなで行動する環境のまち【環境】

- 提案37 再生エネルギーの活用促進
- 提案38 パーク・アンド・ライドの推進
- 提案39 地域猫に対する補助制度創設

4	4	
3	3	
5	5	

戦略10 行財政改革と健全財政の堅持

【行財政運営】

- 提案40 職員の意識改革と職員研修の充実
- 提案41 公共施設の安全性・機能向上と総量削減
- 提案42 一般会計市債残高の30億円削減

4	4	
2	2	
1	2	

4

マニフェスト工程計画自己評価表の見方

令和2年2月公表の工程計画を記載しています。

基本理念1 暮らしやすさ第一豊川市

提案 1

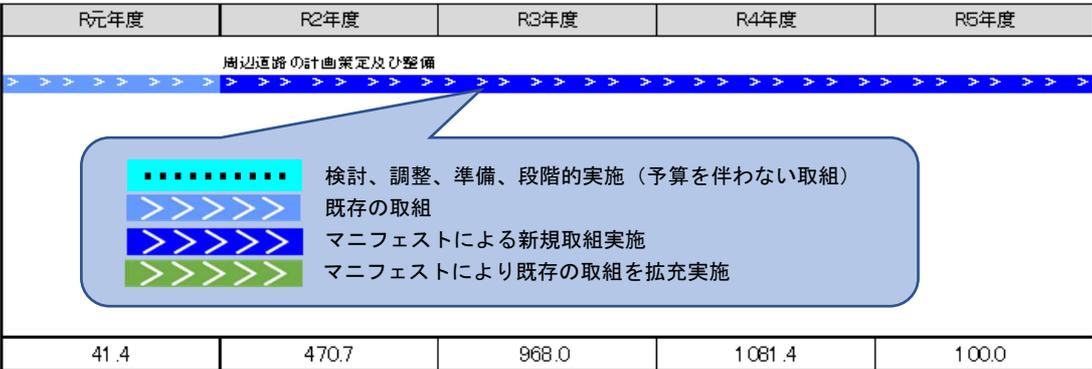
戦略1 雇用の創出など人口増施策

① 商業施設誘致も含めた八幡地区まちづくりの推進

提案	実施内容
1	商業施設周辺に係る交通の円滑化を図るために周辺道路を整備します。

担当：都市整備部八幡駅周辺地区まちづくり推進室、建設部道路建設課

1. 工程計画(下図)は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)



2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
道路改良延長				1,085	1,085	
交差点改良箇所数(従来対向車線)	実績		3箇所	(2箇所)		
その他基盤施設検討	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	(1式)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況	令和2年度までに都市計画道路(八幡地区)3路線の道路詳細設計を実施し、内1路線について用地買収を実施した。また、都市計画道路(従来対向車線)について、道路詳細設計を実施し、5箇所を改良した。
今年度以降の取組予定	令和3年度までの実施状況と、令和4年度以降の取組内容・方針を記載しています。
全ての路線について、令和4年度末の供用開始を目標として事業を進捗させる。令和3年度は市道蔵子白鳥線はじめ3路線の用地買収及び全路線の道路拡幅改良工事、交差点改良工事等を実施する。	

4. 評価

事業の成果等	道路改良及び交差点改良工事の協議が完了したため、道路拡幅改良工事の着手が可能となった。		
進捗状況に対する評価	事業実施による令和3年度までの成果及び令和4年度の予算措置などが記載されているとともに、事業の進捗状況及び自己評価の内容を記載しています。		
公安委員会等による評価	公安委員会等による評価結果は、道路拡幅改良工事の進捗状況及び大型商業施設オープンに向けての渋滞対策等の目的が立ったと考える。	R3	4
		R4	4
		R5	

戦略1 雇用の創出など人口増施策

② 愛知御津駅橋上化建設整備

提案	実施内容
2	愛知御津駅の橋上化整備を実施します。

担当：都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
27.0	71.0	237.7	160.1	201.5

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
駅前広場の整備	目標	現況測量・基本設計	用地交渉	用地交渉	用地交渉	用地取得
	実績	現況測量・基本設計	用地交渉	用地交渉	(用地交渉)	
愛知御津駅の橋上化、自由通路整備に向けた鉄道事業者との調整	目標		概略設計		事業合意	工事協定
	実績		概略設計		(事業合意)	
都市計画変更及び事業認可実施業務	目標			資料作成	実施	
	実績			資料作成	(実施)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【駅前広場整備】 都市計画変更に向け、資料の作成を行いながら愛知県や公安委員会と事前調整を行った。</p> <p>【橋上化、自由通路整備】 概略設計の成果を、議会や地元協議会等へ報告した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【駅前広場整備】 都市計画変更を行うとともに、引き続き用地取得に向けた交渉を行う。</p> <p>【橋上化、自由通路整備】 都市計画変更を行うとともに、鉄道事業者と事業合意し、その後の工事協定に向け、詳細な調整を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>駅前広場整備に必要な都市計画変更に向けた公安委員会及び愛知県との事前調整を行うことができ、橋上化、自由通路整備の進捗状況を議会等へ報告できるレベルまで、鉄道事業者との事業合意に向けた調整を進めることができている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略1 雇用の創出など人口増施策

③ 新規工業団地整備

提案	実施内容
3	新規工業団地の整備に係る候補地調査、評価・選定、関係機関等との調整を行います。

担当：産業環境部企業立地推進課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
候補地調査 				
3.8	4.5	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
工業適地現況調査業務委託	目標	実施				
	実績	実施				
工業適地評価等業務委託(R2) 工業用地概略検討業務委託(R3)	目標		実施	—		
	実績		実施	実施		
開発にかかる各種設計等調査委託・関係機関との調整	目標			実施	実施	実施
	実績			実施	(実施)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
白鳥地区に次ぐ新規工業団地整備に向け、令和2年度までに絞り込んだ開発候補地2地区について、さらなる情報収集及び現地踏査を実施し、開発要件等の課題を整理し、事業化推進を優先する地区を選定した。
今年度以降の取組予定
開発候補地2地区のうち、事業化推進を優先する地区の地元説明や関係する地権者へのアンケート調査等による意向調査を実施するとともに、引き続き、関係機関等との調整、企業ニーズの把握を行う。

4. 評価

事業の成果等		
事業化推進を優先する地区を選定し、地元説明や地権者意向調査等を実施できる段階まで事業を進捗させることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度は、開発候補地の課題解決検討に時間を要し計画に遅れが生じていたが、関係機関等との調整も順調に進捗し、インフラ整備に関して目途が立ったため、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	2
	R4	3
	R5	

戦略1 雇用の創出など人口増施策

④ 市長自らによる企業誘致トップセールス

提案	実施内容
4	企業誘致に向けて、市長が各企業へトップセールスを随時実施します。

担当：産業環境部企業立地推進課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
情報交換会等でトップセールスを実施				
—	未定	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市長自らによる企業誘致トップセールス実施回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		0回	2回	(2回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でトップセールスを実施できなかったが、令和3年度は、東京と大阪で行われた愛知県主催の産業立地セミナーにおいて、市長自らによる企業誘致プレゼンテーションを実施した。
今年度以降の取組予定
今後も新型コロナウイルス感染症拡大の状況を勘案しながら、愛知県主催のセミナー等へ積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施する。

4. 評価

事業の成果等		
多くの企業が集まるセミナーにおいて市長が自らプレゼンテーションを行うことにより、企業誘致のPRができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	1
	R4	3
	R5	

戦略1 雇用の創出など人口増施策

⑤ 市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲

提案	実施内容
5	未活用地となった市有地を売却します。

担当：総務部財産管理課、建設部建築課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市有地の売却に係る計画を策定				
13.4	32.4	31.9	13.2	12.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
未活用地となった市有地の売却	目標		測量	鑑定・売却等	鑑定・売却等	売却等
	実績		測量	売却	(鑑定・売却等)	
みなと住宅移転・解体・売却	目標	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等	鑑定	売却等
	実績	移転督励・解体	解体工事	跡地整備等	(鑑定)	
萩住宅移転・解体・売却	目標	移転督励	移転督励・解体	移転督励・解体	解体・測量調査	解体工事
	実績	移転督励	移転督励・解体	移転督励・解体	(解体・測量調査)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【市有地の売却】 売却に向けた調整等を行い、売却(令和2・3年度で合計3,322.7㎡)や再入札準備等を行った。</p> <p>【市営住宅の入居者移転・解体工事】 萩住宅全入居者の退去が完了し、13棟中、6棟の解体・除却を行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【市有地の売却】 売却に向けて、看板作成等を引き続き行うとともに、不動産鑑定や測量を進捗させる。</p> <p>【市営住宅の入居者移転・解体工事】 萩住宅は、令和5年度までに残る全棟(7棟)を解体・除却する。[令和4年度4棟、令和5年度3棟]</p>

4. 評価

事業の成果等		
順調に入居者移転補償、解体工事が行われているとともに、市有地売却を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略 2 活みなぎる元気なまち

③ 創業・起業支援事業の拡充

提案	実施内容
8	創業機運の醸成を図る事業を検討及び実施するとともに、中心市街地等における空き家見学ツアーを実施します。

担当：産業環境部商工観光課、都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	調査・検討		創業機運醸成事業の実施	
調査・検討	空き家見学ツアーの実施(諏訪地区)			
—	3.7	5.4	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
創業機運醸成事業	目標		調査・検討	調査・検討	実施	実施
	実績		調査検討	1回	(2回)	
空き家見学ツアーの実施回数	目標	調査検討	2回	2回	2回	2回
	実績	調査検討	1回	2回	(2回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【創業機運醸成事業の実施】 これから創業しようとする方を対象に、令和2年度は創業ミニ勉強会(試験的施行)、令和3年度はチャレンジバザーを開催した。</p> <p>【空き家見学ツアーの実施】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、諏訪地区で1回の開催にとどまったが、令和3年度は新たにYouTubeを使ったツアーの動画配信を企画し、諏訪地区において実際に現地をまわる空き家見学ツアーを1回、動画配信によるツアーを1回の計2回行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【創業機運醸成事業の実施】 創業無関心層である市内高校に通う高校生に対し、創業に関する講義を行う。</p> <p>【空き家見学ツアーの実施】 諏訪地区で各年度2回実施する。実施においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえた安全かつ有効性の高い実施方法を検討するとともに、遊休不動産の利活用に繋がる仕組みについて検討を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>創業者等へのニーズ調査を踏まえ、創業機運醸成事業(チャレンジバザー)を前倒して令和3年度から実施できた。空き家見学ツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、遊休不動産の利活用につなげることはできなかったものの、空き家の活用に向けた取組を進めることができています。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
創業機運醸成事業は、創業者へのニーズ調査等を通じて、工程計画を前倒して実施できたことを評価する。	R3	3
	R4	4
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

① 消防署本署の建替

提案	実施内容
11	建設用地の選定を踏まえて消防署本署庁舎の建て替えを進めます。

担当：消防本部消防総務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・研究の実施				
基本計画の策定				
基本設計及び実施設計の策定				
—	6.6	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防署本署の建替	目標	調査・研究	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	調査・研究	基本構想	基本計画	(基本設計)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「豊川市消防署本署庁舎整備基本計画」の策定を行うとともに、隣接地の用地取得に向けた交渉を進捗させた。
今年度以降の取組予定
令和2年度に策定した基本構想及び令和3年度に策定した基本計画を踏まえて、令和4年度に基本設計、令和5年度に実施設計を行う。令和4年度に隣接地の用地買収を行う。

4. 評価

事業の成果等		
消防署本署建設に向けた整備内容の精査ができており、順調に用地交渉を進めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

② 防災行政無線の更新

提案	実施内容
12	防災情報伝達システムを更新します。

担当：危機管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新システム整備				
				
14.8	734.7	716.4		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防災情報伝達システムの整備	目標	実施設計	整備委託	整備委託		
	実績	実施設計	整備委託	整備完了		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度も引き続き整備作業を実施し、新システムの機能の一つである防災アプリの運用を、令和3年6月から開始した。令和4年1月には全市域で新システムの運用を開始し、令和3年度中にすべての整備を完了した。
今年度以降の取組予定

4. 評価

事業の成果等		
防災情報伝達システムの更新を、計画どおり完了した。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って整備を完了したことを評価する。	R3	3
	R4	5
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

③ 市民ニーズ調査による防犯カメラ設置

提案	実施内容
13	町内会による防犯カメラ設置に対する補助を拡充するとともに、市内の主要な幹線道路等に防犯カメラを設置します。

担当：市民部人権交通防犯課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位：百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ニーズ調査		補助率の拡充		
防犯カメラの設置				
2.0	6.4	6.7	6.7	6.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
防犯カメラ設置費補助事業の補助率	目標	80%	80%	90%	90%	90%
	実績	80%	80%	90%	(90%)	
市内幹線道路等への防犯カメラ設置台数	目標		50台	保守・活用	保守・活用	保守・活用
	実績		50台	保守・活用	保守・活用	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】 令和2年度に連区及び町内会に対するニーズ等を把握するアンケートを行い補助率の拡充を検討し、令和3年度から補助率を90%に拡充して事業を実施した。</p> <p>【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】 令和2年度に市内の主要交差点に41台及び防犯カメラ未設置の公共自転車駐車場に9台、計50台の防犯カメラを設置し、運用している。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【防犯カメラ設置に対する補助の拡充】 サンセット方式により令和3年度から令和5年度まで補助率90%とし、3か年で、防犯活動を行う連区及び町内会への支援を集中的に実施する。</p> <p>【市内幹線道路等への防犯カメラ設置】 適切な保守に努め、犯罪発生時などに警察から防犯カメラ録画情報の提供を求められた場合は、速やかに提供を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>補助率を拡充した令和3年度は、5団体、9台の防犯カメラ設置補助の利用があり、町内会による防犯カメラの設置を支えることができています。</p> <p>市内幹線道路等に設置した防犯カメラを適切に保守管理、運用することにより、犯罪抑止力を向上させることができています。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>工程計画どおり、町内会による防犯カメラ設置に対する補助率拡充の実施と、市内主要幹線道路等への防犯カメラの設置が完了したことを評価する。</p>	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

④ 高齢ドライバー後付け安全装置への助成

提案	実施内容
14	高齢ドライバー後付け安全運転支援装置設置費補助を実施します。

担当：市民部人権交通防犯課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整				
安全運転支援装置設置費補助の実施				
—	6.0	7.2	7.2	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
安全運転支援装置補助件数	目標		100台	100台	100台	
	実績		115台	51台	(100台)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
高齢運転者の踏み間違いを防止する、後付け安全運転支援装置設置に対する補助事業を令和2年度から開始した。併用可能であった国のサポカー補助金が終了したため、令和3年10月30日より補助金の限度額について、障害物検知機能付を32,000円から60,000円に、障害物検知機能なしを16,000円から30,000円に増額した。
今年度以降の取組予定
サンセット方式により令和2年度から令和4年度まで補助を実施し、自動車を運転する高齢者への安全運転支援装置設置支援を集中的に実施する。

4. 評価

事業の成果等		
補助件数は目標を下回ったものの、補助金の限度額を増額することにより、安全運転支援装置の設置を促進できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画どおり、令和2年度に補助制度を創設した。令和3年度途中に市補助金の限度額を増額したことで、集中的支援の効果を持続させていることを評価する。	R3	5
	R4	5
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑤ 通学路危険個所の一斉点検と安全対策

提案	実施内容
15	通学路における一斉点検や安全対策事業を行います。

担当：建設部道路河川管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整 通学路危険個所の点検会議の開催、安全対策事業の実施				
—	6.6	6.7	6.7	

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
豊川市通学路安全推進会議の実施回数	目標		3回	3回	3回	
	実績		3回	3回	(3回)	
安全対策事業(カラー舗装)の実施校区数	目標		2校区	2校区	2校区	
	実績		2校区	2校区	(3校区)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況	豊川市通学路安全推進会議を開催し、会議の中で挙げられた危険個所において区画線の設置や引き直し等を実施した。小学校2校区において、学校との調整に基づき、必要箇所にカラー舗装を実施した。
今年度以降の取組予定	豊川市通学路安全推進会議において、PDCAサイクル(合同点検に基づく対策の検討、対策の実施、対策効果の把握、対策の改善・充実)を繰り返し実施し、計画的に交通安全対策の強化を進めるとともに、カラー舗装を順次実施する。

4. 評価

事業の成果等	通学路の交通安全確保について、継続的な取組を実施し安全性の向上を図ることができている。	
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑥ ストリートデザインマネジメントの推進

提案	実施内容
16	桜町千両線において自転車歩行者道やベンチ等の設置を行い、市民が親しめる歩行者空間の整備を行うとともに、市内主要幹線道路等における無電柱化の推進を図ります。

担当：建設部道路建設課、都市整備部都市計画課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		自転車歩行者道の整備	ベンチ等整備	
調査		可能性調査委託	推進計画	概略設計
71.2	64.1	115.5	90.5	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜町千両線道路改良延長(自転車歩行者道の整備)	目標	320m	用地買収・物件補償	460m	400m	
	実績	320m	用地買収・物件補償	460m	(400m)	
無電柱化の推進	目標		調査検討	調査検討	計画策定	予備設計
	実績		調査検討	調査検討	(計画策定)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【桜町千両線自転車歩行者道整備】 用地買収・物件補償及び780mの道路改良工事を完了し、道路改良工事施工済み箇所において、ベンチ、照明灯の設置及び桜の植樹を実施した。</p> <p>【無電柱化の推進】 無電柱化推進計画策定のための調査等を行い、併せて県道国府馬場線の無電柱化について、愛知県へ進捗状況の確認を随時行った。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【桜町千両線自転車歩行者道整備】 令和4年度に400mの道路改良工事及びベンチ等の整備を実施する。</p> <p>【無電柱化の推進】 無電柱化推進計画の策定を行い、今後の整備方針を決定していく。</p>

4. 評価

事業の成果等		
自転車歩行者道整備により、歩行者の交通安全性を高めることができるとともに、県道国府馬場線の一部区間における無電柱化について愛知県が詳細設計に着手するなど、事業を進捗させることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和5年度に予定していたベンチ等整備について、道路改良工事施工済み箇所において前倒しするなど、概ね工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略 3 市民の安全・安心を守る

⑦ 町内会要望等住民密着予算の拡充

提案	実施内容
17	無蓋側溝の蓋付側溝への改良や路肩整備等による歩行者通行帯等の整備を行います。

担当：建設部道路建設課、道路河川管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
改良工事等の拡充				
300.6	329.7	350.0	350.0	300.6

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
要望に基づく改良工事等の件数	目標	44件	38件	51件	55件	43件
	実績	44件	38件	117件	(55件)	
整備工事費 (単位:百万円)	当初予算	300.5	329.6	360.9	346.0	
	決算	310.7	356.8	352.0	(346.0)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から予算の拡充を行い、町内会等要望に係る改良・整備工事費を増額して実施した。(令和3年度に件数が増加しているのは、工事費が少額の案件を多数施工したため)。
今年度以降の取組予定
令和4年度まで引き続き予算を拡充し、町内会等要望に係る改良・整備工事を一層進捗させる。

4. 評価

事業の成果等		
要望が多数寄せられているが、現実的かつ緊急性の高い要望事業について、従前以上に改良工事等を実施することができており、交通の安全性を高めることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から改良・整備工事費の増額を行い、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

① 桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」リニューアル改修

提案	実施内容
18	利用者の意見を踏まえて、桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」をリニューアル改修します。

担当：市民部文化振興課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
基本構想策定				
設計実施				
改修工事				
—	—	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
桜ヶ丘ミュージアム茶室「心々庵」の改修	目標		基本設計	実施設計	改修工事	供用開始
	実績		基本設計	実施設計	(改修工事)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度に茶室利用者等からのアンケート結果を反映した基本設計を行い、令和3年度に実施設計を行った。
今年度以降の取組予定
令和4年度に工事を実施し、令和5年3月に供用を開始する。

4. 評価

事業の成果等		
文化協会茶道部と調整し、バリアフリーに配慮した立礼席や水屋の増築を盛り込んだ実施設計を行うことができる。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って進捗しており、利用者等意見を踏まえた使いやすい施設が今年度中に完成予定である。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略 4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり

② 地域間（ゆかりのある自治体）交流の推進

提案	実施内容
19	他自治体と連携を図り、豊川市にゆかりのある内容の展覧会を開催します。

担当：市民部文化振興課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	—	—	7.8	—

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地域間(ゆかりのある自治体)交流の推進	目標		調査・検討	調査・検討	展覧会開催	
	実績		検討	史料調査・協議	(展覧会開催)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川ゆかりの大家が存する自治体6市(新潟県長岡市・滋賀県大津市・静岡県牧之原市・愛知県西尾市・愛知県岡崎市・愛知県豊橋市)を選定し、先方に赴いて史料調査を行い、各市の資料館の展示品や紹介パネルの借用を依頼するなど、交流企画展の実施に向けた調整を進めた。
今年度以降の取組予定
引き続き準備を進め、「とよかわ紋・藩ワールド」を、令和4年10月8日(土)から11月27日(日)まで開催する。

4. 評価

事業の成果等		
地域間(ゆかりのある自治体)交流を推進するための魅力あるテーマの展覧会の実施に向けた準備を進め、連携先や開催日などの詳細を決定することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新たに2市(滋賀県大津市・静岡県牧之原市)との関係を築くことができ、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

① 高校3年生世代までの入院医療費無料化

提案	実施内容
22	入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を、高校3年生世代までに拡大します。

担当：福祉部保険年金課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討・調整				
入院医療費の無料化対象の拡大				
4.3	13.4	13.0	13.0	13.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入院無料化の範囲	目標	中学卒まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学卒まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	(高校3年生世代まで)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から開始した高校1～3年生世代の入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を継続して実施し、令和2年度は計40件、令和3年度は計72件の利用があった。
今年度以降の取組予定
引き続き、高校3年生世代までの入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を実施し、制度の周知を行う。

4. 評価

事業の成果等		
入院に係る医療費保険診療分の自己負担額の全額助成を高校3年生世代まで拡大したことで、子育て世代の経済的負担を軽減することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和2年度から開始した高校3年生世代までの入院医療費無料化を、継続して実施できていることを評価する。	R3	5
	R4	5
	R5	

戦略5 子育て世帯を全力で応援

③ 保育園の老朽化等危険遊具の早期改修

提案	実施内容
24	保育園の既存遊具の撤去・修繕及び新規遊具を設置します。

担当：子ども健康部保育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検討及び改修工事 改修工事 				
12.9	21.0	9.6		

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
遊具整備を実施する保育園数	目標	4園	9園	6園		
	実績	4園	9園	6園		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「遊具の安全に関する基準」に基づく点検の結果、老朽化等により安全基準を満たさないこととなった遊具について、令和元年度に遊具配置計画を策定し、同年度に4園、令和2年度に9園、令和3年度に6園の移設、撤去、新規設置を実施し、事業を完了した。
今年度以降の取組予定

4. 評価

事業の成果等		
工程計画どおり整備工事を完了し、保育の充実及び園児の安全性確保を図ることができた。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画どおりに事業を完了したことを評価する。	R3	4
	R4	5
	R5	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

① 小中学校学級運営支援員の拡充

提案	実施内容
26	小中学校の要望に基づき、必要とされる学級への支援員の配置を拡充します。

担当：教育委員会学校教育課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員を増員				
54.3	61.9	72.3	77.5	82.7

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学級運営支援員の人数	目標	74人	79人	84人	89人	94人
	実績	74人	79人	84人	(89人)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年度に74人のところ、2年度に79人、3年度に84人の体制とし、各年度5人ずつの拡充を行った。
今年度以降の取組予定
令和5年度までに、各学校からの要望に基づき、毎年度5人の増員配置を行う。

4. 評価

事業の成果等		
各学校から学級運営支援に対する要望が多く出ている中で、支援員の増員により学級の安定化を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
計画的な学級運営支援員の増員を評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

② 外国籍児童生徒を対象としたこぎつね教室の拡充

提案	実施内容
27	こぎつね教室の日本語指導員を増員するとともに、学校と連携を図りながら、定員を拡充します。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
指導員の増員及び定員の拡充を実施				
8.9	12.9	12.8	12.9	12.8

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
こぎつね教室の日本語指導員数	目標	4人	5人	5人	5人	5人
	実績	4人	5人	5人	(5人)	
こぎつね教室の定員数	目標	60人	90人	90人	90人	90人
	実績	60人	90人	90人	(90人)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和元年7月から日本語指導員を1人、さらに令和2年4月より1人増員して日本語指導の充実を図るとともに、児童生徒の定員を増やし受入体制を拡充した。令和3年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通室できない児童生徒を対象としたオンライン授業による日本語学習の指導を行ったほか、卒業した中学生を対象としたアフターフォローのオンライン授業や、新たに親子を対象とした「親子プレスクール」を10月～3月に20回実施し、11組の親子に日本語学習や学校生活についての指導を行った。
今年度以降の取組予定
指導員を増員し、児童生徒の定員を増やし受入体制を拡充したことに加え、令和3年度から開始したオンライン授業の活用を推進するとともに、引き続き親子プレスクールを実施し、より日本語指導の必要な児童生徒を幅広く受入れ、指導内容を充実させることで、就学の促進と日本語教育の推進を図る。

4. 評価

事業の成果等		
日本語指導員の増員による定員の拡充ができたことにより、令和元年度まで発生していた待機者は0人となった。オンライン授業を活用することで、日本語の継続的な指導を行うことができ、子どもたちの意欲を学習の成果に繋げることができた。親子プレスクールでは、保護者への高い意識付けにより家庭学習を促したことで学習効果が上がり、より外国人児童生徒等のニーズにあった学習支援を行うことができていく。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
指導員の増員及び児童生徒の定員の拡充ができたほか、オンライン授業の活用、親子プレスクールの実施など工程計画以上に進捗できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育

③ 地産地消の推進と「生きる力」を育む食育教育の充実

提案	実施内容
28	食育事業を実施するとともに、学校給食において豊川産農産物の使用機会を増加します。

担当：教育委員会学校給食課、産業環境部農務課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討 食育事業の実施 				
	0.2	0.9	1.6	2.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
食育事業の実施小学校数	目標			1校	2校	3校
	実績			1校	(2校)	
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.25%	11.56%	12.15%	10%以上	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【食育事業】 御津北部小学校において、地元の農産物を使用して朝ごはんをテーマとした家庭科授業を行った。 【学校給食における豊川産農産物の使用機会】 令和2年度から、食材の調達元である一般青果業者に対し、毎月豊川産農産物使用可能状況調査を行い、その調査結果に基づき発注を行ったことで、豊川産農産物の使用割合が向上した。
今年度以降の取組予定
【食育事業】 市内の小学校2校において、朝ごはんをテーマにした家庭科授業を行う。 【学校給食における豊川産農産物の使用機会】 引き続き豊川産農産物の使用可能状況調査を継続し、使用機会を増加させていく。また、「こだわり農産物」(減農薬・減化学肥料で栽培されて認証された豊川産農産物)の使用を検討する。

4. 評価

事業の成果等		
地元農家が生産する農産物を家庭科授業に活用したことによる効果的な食育事業と、学校給食における豊川産農産物の使用割合の増加により、地産地消の推進を図ることができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画どおり、小学校における食育事業の実施及び学校給食における豊川産農産物の使用割合の増加が図られていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略 7 安心して暮らせるぬくもりのまち

③ シルバー人材センター事業への支援拡充

提案	実施内容
31	シルバー人材センター事務局体制の強化や福利厚生充実を図るとともに、高齢者世帯の日常生活支援に係る事業の実施を支援します。

担当：福祉部介護高齢課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実				
29.2	31.5	33.0	33.0	33.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
シルバー人材センターの会員数	目標	1,050人	1,100人	1,150人	1,200人	1,250人
	実績	1,063人	1,124人	1,171人	(1,232人)	
ちよこつとサポート事業の実施件数	目標			300件	300件	300件
	実績			577件	(960件)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【事務局の体制強化及び福利厚生事業の充実】 会員の獲得や就業機会の増大に向け、令和2年度に就業開拓及び事務局体制の強化のためのプロパー職員の採用と、会員の福利厚生事業である被服費に対する補助額を増額した。</p> <p>【高齢者の生活支援に係る事業の実施】 令和3年度から、高齢者同士の支え合い及びシルバー人材センターへの就業支援として、シルバー人材センターへの委託により、高齢者世帯の日常生活支援を行うちよこつとサポート事業を実施した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【高齢者の生活支援に係る事業の実施】 ちよこつとサポート事業のさらなる周知を行い利用の拡大を図るとともに、介護・生活支援サポーター養成講座等により、ちよこつとサポート事業を始めとする生活支援事業の担い手となる高齢者の育成を行う。</p>

4. 評価

事業の成果等		
令和2年度からシルバー人材センター事務局体制の強化や福利厚生充実、令和3年度から高齢者世帯の日常生活支援に係る事業実施の支援を行うことができ、かつちよこつとサポート事業は目標を超える利用実績となっており、効果的に事業を推進できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
ちよこつとサポート事業をはじめ工程計画に沿った取り組みにより、高齢者の就業機会確保と生活支援につながっていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち

④ 障がい者の積極的な採用計画

提案	実施内容
32	障害者の採用を進めるとともに、障害者のワークステーション事業を開始します。

担当：企画部人事課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
...	障害者のワークステーション事業を開始			
—	11.3	14.6	14.6	14.6

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
障害者雇用率	目標	2.50%	2.50%	2.70%	2.80%	2.90%
	実績	1.78%	2.28%	2.60%	(2.80%)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【障害者の採用】 障害者雇用推進チームで雇用率向上に係る取組の検討を行い、障害者の働きやすい環境づくりに努めるとともに、障害者の計画的かつ積極的な採用により雇用率が上昇したが、雇用率算定上の母数となる職員数が増加したため、雇用率の目標達成には至らなかった。</p> <p>【障害者ワークステーション事業】 令和3年度は運営スタッフ4名(前年度から+1名)、障害者スタッフ6名(同+2名)で運営した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【障害者の採用】 引き続き、雇用率向上のための取組を実施するとともに、計画的かつ積極的に障害者を採用する。</p> <p>【障害者ワークステーション事業】 常時6人の障害者スタッフによる、運営体制の確保及び請負業務の充実に努める。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>障害者が働きやすい環境づくりに取り組むとともに、計画的かつ積極的な採用により雇用率が向上した。</p> <p>障害者ワークステーションが、各部署の軽易な作業を請負うことにより、市役所全体の事務の効率化につながっている。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>計画的かつ積極的な障害者雇用及び障害者ワークステーションの開設により、障害者雇用率の向上に寄与していると評価する。</p>	R3	3
	R4	3
	R5	

戦略 7 安心して暮らせるぬくもりのまち

⑤ 障がい者相談事業の拡充

提案	実施内容
33	障害者の相談支援体制の強化及び医療的ケアコーディネーターの活動に対する支援を行います。

担当：福祉部福祉課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
調査・検討				
人材確保への支援				
相談支援体制の強化				
51.1	52.7	65.6	65.6	72.4

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
障害者相談支援従事者初任者研修受講費助成制度	目標		実施	実施	実施	実施
	実績		実施	実施	(実施)	
基幹相談支援センターの正規職員数	目標	2人	2人	3人	3人	4人
	実績	2人	2人	3人	(3人)	
医療的ケア児等コーディネーターの配置人数(委託)	目標			1人	1人	1人
	実績			1人	(1人)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【人材確保への支援】 令和2年度から、障害者相談支援従事者初任者研修の受講費助成制度を開始し、令和2年度1法人、令和3年度2法人に対して助成を行った。令和4年度から、市内に事業所を新規開設する事業者の過年度受講者も対象となるよう、助成範囲を拡大した。</p> <p>【相談支援体制の強化】 基幹相談支援センターの体制を強化するため、正規職員を令和3年度に1人増員し、医療的ケア児等総合支援事業として、医療的ケア児等コーディネーターの配置を委託により新たに実施した。</p>
今年度以降の取組予定
<p>【人材確保への支援】 障害者相談支援従事者初任者研修の受講費助成の対象範囲を広げることにより、市内事業所における人材確保を支援する。</p> <p>【相談支援体制の強化】 基幹相談支援センターの体制をさらに強化するため、令和5年度に正規職員を1人増員する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>障害者相談支援体制等の充実により、障害者福祉の向上を図ることができ、法律の改正により令和3年度から自治体の責務とされた医療的ケア児・家族に対する支援施策として、医療的ケア児等コーディネーターの配置を実施することができた。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>工程計画に沿って進んでおり、障害者の相談支援体制を強化するとともに、医療的ケア児等への支援を先駆的に実施できたことを評価する。</p>	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略8 市民の主体的な活動を応援

① 消防団員・交通指導隊員等の処遇改善

提案	実施内容
34	消防団員の処遇改善(出動手当の拡充)、スポーツ推進委員の処遇改善(報酬額等の引き上げ)、交通安全指導隊員の処遇改善(活動支援費等の拡充)を行います。

担当：消防本部消防総務課、教育委員会スポーツ課、市民部人権交通防犯課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
【消防団員】	手当の拡充内容に係る、調査・検討			手当の拡充
【スポーツ推進委員】	報酬額等の引き上げに係る調	報酬額の引き上げ		
【交通安全指導隊員】	支援の拡充に係る調査・検討	活動支援費等の拡充実施		
20.2	20.2	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	調査・検討	手当拡充
	実績	既存取組	調査・検討	調査・検討	(手当拡充)	
スポーツ推進委員報酬(委員/年額)	目標	—	—	60,000円	60,000円	60,000円
	実績	50,000円	50,000円	60,000円	(60,000円)	
交通安全指導隊交付金(分隊割/年額)	目標	—	—	30,000円	30,000円	30,000円
	実績	20,000円	20,000円	30,000円	(30,000円)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【消防団員】 改善内容を検討し、災害出動時における報酬等を新設するため、豊川市消防団条例の改正を令和4年3月議会で行った。</p> <p>【スポーツ推進委員】 令和3年度から報酬額を一律60,000円/年とした。(委員長は5,000円、副委員長は8,000円、委員は10,000円の増額)</p> <p>【交通安全指導隊】 令和3年度から交通安全指導隊交付金を、1分隊あたり30,000円/年、隊員1人あたり15,000円/年とした。(1分隊あたり10,000円、隊員1人あたり2,000円の増額)</p>
今年度以降の取組予定
<p>【消防団員】 令和4年度から、出動1回あたりの災害出動報酬を活動時間に応じた段階式の報酬額(1日につき上限8,000円)とする。</p> <p>【スポーツ推進委員】 報酬額を一律60,000円/年とする支援を継続する。</p> <p>【交通安全指導隊】 報酬額を1分隊あたり30,000円/年、隊員1人あたり15,000円/年とする支援を継続する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
消防団員の処遇改善については、令和5年度実施予定であった手当の拡充を令和4年度に前倒しで実施した。消防団員、スポーツ推進員、交通安全指導隊の活動強化を支援することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
消防団員、スポーツ推進委員、交通安全指導隊員の処遇改善を実施することができたことを評価する。	R3	4
	R4	5
	R5	

戦略8 市民の主体的な活動を応援

② 町内会加入率低下対策プロジェクトの設置

提案	実施内容
35	課題解決に意欲のある町内会にアドバイザーを派遣するとともに、庁内プロジェクトチームを設置し、町内会加入数増加に係る対策を実施します。

担当：市民部市民協働国際課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討				
アドバイザー派遣実施				
庁内プロジェクトチームの設置				
—	0.6	0.6	0.6	0.6

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
町内会アドバイザーの派遣団体数	目標		2団体	2団体	2団体	2団体
	実績		4団体	4団体	(2団体)	
庁内プロジェクトチーム会議の開催回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		5回	3回	(2回)	
(参考)町内会加入世帯数 ※各年度4月1日現在値		54,026世帯	54,135世帯	54,285世帯	54,516世帯	
(参考)町内会加入率 ※各年度4月1日現在値		71.0%	70.0%	69.7%	69.4%	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【町内会アドバイザー派遣事業】 令和2・3年度ともに、4団体が専門家を交えての検討会・地元協議を行い、町内会運営の負担軽減や既存事業の活性化等の課題の解決策を実践するとともに、報告会の開催により、実践内容等を団体間で情報共有した。</p> <p>【庁内プロジェクトチームの設置】 庁内プロジェクトチーム会議を行い、市が町内会等に推薦を依頼する委員や会議等の出席回数を削減するとともに、チームで調査・研究した町内会電子回覧板を、令和3年度に連区長会に委託して実証実験を行った。(10町内会が参加)</p>
今年度以降の取組予定
<p>【町内会アドバイザー派遣事業】 新たな町内会の参加を募集し、引き続き若い世代(学生、子育て世代、現役世代など)の参加促進について専門家を交えて検討を行う。</p> <p>【庁内プロジェクトチームの設置】 引き続き、町内会加入率低下抑制を図るための施策を検討するとともに、町内会電子回覧板の実証実験への参加町内会の増加を図る。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>町内会加入率は、世帯分離や単身世帯の増加等に伴い、分母となる世帯数の増加が著しい(※)ため微減となったものの、町内会加入数は増加した。</p> <p>※参考…令和3年4月1日と令和4年4月1日の比較で、人口362人増加に対して、世帯数は747世帯の増加(住民基本台帳ベース)</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
町内会加入率は低下しているものの、町内会が主役となって実施した市との連携事業により低下幅を縮小できており、町内会加入数が増加していることを評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略9 みんなで行動する環境のまち

① 再生エネルギーの活用促進

提案	実施内容
37	家庭における再生可能エネルギーの活用促進に係る支援を拡充します。

担当：産業環境部環境課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
再生可能エネルギー活用促進に係る支援の拡充				
6.3	15.0	17.0	17.0	8.9

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
住宅用地球温暖化対策設備設置補助件数	目標	140件	170件	180件	180件	160件
	実績	137件	167件	168件	(195件)	
住宅用地球温暖化対策設備設置補助額	目標	6,300千円	15,000千円	17,000千円	17,000千円	8,900千円
	実績	5,957千円	14,588千円	15,791千円	(18,500千円)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
「住宅用燃料電池システム設置」、「住宅用リチウムイオン蓄電池システム設置」及び「住宅用地球温暖化対策設備一体的導入設置」補助制度について、令和2年度から補助件数及び補助額を拡充し、令和2年度、3年度とも概ね予算上限額に近い活用実績となっている。
今年度以降の取組予定
サンセット方式による令和2年度から令和4年度までの拡充であるが、需要の高い「住宅用リチウムイオン蓄電池システム設置費補助」は、令和4年度は令和3年度よりさらに補助件数を多く見込んだ予算措置を行い、再生可能エネルギーの活用促進を一層図る。

4. 評価

事業の成果等		
令和3年度は、最も需要の高い「住宅用地球温暖化対策設備一体的導入設置費補助」の補助件数を令和2年度から10件増やし30件にしたことで、例年以上に家庭における二酸化炭素排出量の抑制に寄与できている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
工程計画に沿って令和2年度から補助制度の拡充を行い、高い利用実績となっていることから、効果的に事業を推進できていると評価する。	R3	4
	R4	4
	R5	

戦略 9 みんなで行動する環境のまち

③ 地域猫に対する補助制度創設

提案	実施内容
39	クラウドファンディングによる支援者の確保を図り、地域猫に対する補助制度を創設します。

担当：産業環境部環境課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実施内容の検討				
クラウドファンディングの実施				
補助				
—	0.1	1.0	1.0	1.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラウドファンディングによる寄附金額	目標		1,000,000円			
	実績		5,047,492円			
地域猫不妊去勢手術費補助件数	目標		100件	100件	100件	100件
	実績		188件	307件	(120件)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
<p>【クラウドファンディング】 令和2年度に、メディアへの積極的PRを行ったことにより、全国の賛同者から、目標設定額の5倍以上の寄附を受けた。</p> <p>【地域猫不妊去勢手術費補助制度】 令和元年度までは、飼い主のいない猫による糞尿被害等の対応に苦慮していたが、寄附金を原資とした補助制度の構築により、効果的な対応を実施することができるようになった。本制度は市民の関心も高く、事業開始後、多くの問合せ・相談が寄せられ、令和2～3年度は当初目標件数を大きく上回る補助件数となった。</p>
今年度以降の取組予定
<p>クラウドファンディングによって受けた寄附金も残り少ないことから、新たな財源確保と支援施策の検討を行い、環境美化の推進を図り、市内全域での活動を目指し、未実施の地域でのPRを推進する。</p>

4. 評価

事業の成果等		
<p>不妊去勢手術件数、地域猫活動団体登録数は、目標件数を大きく上回り事業の浸透が図られ、苦情件数は減少傾向で相談の内容も軽微なものになってきており、交通事故等による猫の死亡件数が減少している。</p>		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>令和2年度にクラウドファンディングの実施及び同年度から補助制度の創設ができ、かつ、いずれも目標値を大幅に超える実績値となっていることから、効果的に事業を進捗させることができていると評価する。</p>	R3	5
	R4	5
	R5	

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持

② 公共施設の安全性・機能向上と総量削減

提案	実施内容
41	新たなモデルエリアの再編整備に向けた調整・検討を行います。

担当：総務部財産管理課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
庁内検討の実施 				
—	7.7	7	20.0	58.0

2. 活動内容の目標と実績

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
新たなモデルエリア(一宮地区)の再編整備	目標	庁内検討	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計
	実績	庁内検討	基本構想	基本構想	(基本計画)	
(参考)一般公共施設の総延べ床面積	目標	491,000㎡	491,000㎡	496,000㎡	494,000㎡	493,500㎡
	実績	496,967㎡	492,549㎡	492,096㎡	(492,028㎡)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民参画によるワークショップ及び基本構想検討委員会が予定どおり開催できなかったため、令和2年度に計画していた基本構想の策定が、令和3年度にずれ込んだ。
今年度以降の取組予定
令和4年度に基本計画の策定、令和5年度に基本設計を行う。

4. 評価

事業の成果等		
計画より1年遅れではあるが、基本構想の策定は完了し、基本計画策定に着手することができている。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画に遅れが生じている。	R3	2
	R4	2
	R5	

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持

③ 一般会計市債残高の30億円削減

提案	実施内容
42	市債残高の削減による健全な財政運営を行います。

担当：総務部財政課

1. 工程計画(下段は工程計画策定時の事業費見込額、単位:百万円)

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市債残高の削減				
未定	未定	未定	未定	未定

2. 活動内容の目標と実績

(単位:億円)

内容	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標
一般会計市債残高	当初予算	—	410	414	398※		382
	決算	412	400	390			
(参考)R元年度決算値との差	当初予算	—	▲2	2	▲14		▲30
	決算	—	▲12	▲22			

※R4年度の一般会計市債残高当初予算値は、R4年度に借入を行う予定のまちづくり振興基金積立に係る合併特例債9億5,000万円を差し引いた金額

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度までにおいて、対令和元年度決算値比で市債残高を22億円削減でき、390億円となった。
今年度以降の取組予定
総合保健センター(仮称)整備や消防署本署庁舎整備を始めとする大型建設事業に対応するため、市債発行額の増加が想定されることから、国県補助金や財政調整基金を始めとする基金を活用する等、年間借入額を極力抑制しつつ、持続可能で健全な財政運営に努める。

4. 評価

事業の成果等		
対令和元年度決算値比で市債残高を22億円削減できたものの、令和4年度予算における令和4年度末市債残高見込みは398億円であり、対令和3年度決算比で市債残高が増加している。		
進捗状況に対する自己評価(評点)		
令和3年度決算までは市債残高を減らすことができたものの、令和4年度も学校施設をはじめとする適債事業が予定されており、工程計画達成が微妙である。	R3	1
	R4	2
	R5	